

セミナーのご案内

- 訪問や来社によるセミナーのご依頼は、お電話あるいはメールにて承ります。
- 顕微鏡やモニターを持参してライブで診断を行うことも可能です（移動手段や訪問先の設備による）。
- 講演料等、詳細はご相談ください。

<セミナーメニュー>

- ① **動物死後検査セミナー（基本2時間、延長可能）**
 - ・総論、各論、実際の症例の解説、剖検手技紹介ムービー等
 - ・当社独自の内容です
 - ・時間に応じて解説する症例を増減できます
- ② **小動物臨床における病理検査（2時間）**
 - ・Total patient evaluation、病理組織検査の流れ、外科切除マージン、免疫染色と特殊染色、死後検査についての基礎を網羅しています
- ③ **試験開腹パート1（1.5時間）**
 - ・肝臓、胆嚢、脾臓の病変の鑑別診断と解説、肉眼像と組織像の対比
- ④ **試験開腹パート2（1.5時間）**
 - ・泌尿器、生殖器の病変の鑑別診断と解説、肉眼像と組織像の対比
- ⑤ **皮膚腫瘍（1.5時間）**
 - ・犬と猫の体表腫瘍（体幹、四肢、頭頸部）の鑑別診断と解説、肉眼像、細胞診所見、組織像の対比
- ⑥ **甲状腺・上皮小体の病理（1.5時間）**
 - ・犬と猫の甲状腺および上皮小体疾患を網羅したセミナー
- ⑦ **膵臓の病理（1.5時間）**
 - ・犬と猫（フェレットも若干）の膵臓疾患を網羅したセミナー
- ⑧ **泌尿器の病理（2時間）**
 - ・腎臓、尿管、膀胱、尿道、前立腺の疾患を病理学的観点から網羅したセミナー
- ⑨ **病理診断医という進路（1時間）**
 - ・米国留学体験を踏まえた、獣医学部生・大学院生向けの情報提供
- ⑩ **ラオス北部ルアンナムターの自然と人々と動物（1997-2000年）（50分）**
 - ・青年海外協力隊体験を踏まえた、一般向けの話
 - ・途上国で活動したい獣医師の進路選択の一助になる内容
- ⑪ **その他**
 - ・動物の**死後検査症例を多数**経験しておりますので、肉眼像と組織像を対比させながら、死因、疾患、病態等について詳しくお話しすることが可能です。
 - ・動物が残してくれた重要なメッセージを、セミナーご依頼主様のご意向に沿って説明させていただきますので、是非ご相談ください。